

平成23年度

第1回公民館運営審議会議事録

平成23年5月20日開催

平成23年7月 8日承認

浦安市高洲公民館

平成23年度第1回 公民館運営審議会会議

- 日 時 平成23年5月20日（金）午後3時～5時
- 場 所 高洲公民館2階 研修室
- 次 第

I 開会

1. 委員長挨拶
2. 教育委員会挨拶
3. 新委員委嘱

II 協議

1. 報告事項
 - (1) 平成22年度公民館主催事業開催結果
 - (2) 平成22年度公民館利用状況報告
2. 審議事項
 - (1) 平成23年度公民館運営審議会年間活動計画
 - (2) 平成23年7月～9月公民館主催事業開催計画（資料当日配布）

III その他

- (1) 当代島公民館サークル発表会について
- (2) 次回会議の予定について

○ 出席委員

委員 長	塙 勉
委員	庵 原文 子
委員	木 邨 定 男
委員	高 橋 ヒロ子
委員	田 中 旻
委員	増 田 幸 右
委員	根 本 俊 一
委員	竹 本 正 和
委員	大 杉 麻 美

○ 説明出席者等

生涯学習部長	織 戸 久 雄
生涯学習部次長	石 川 豪 三
生涯学習課長	斎 藤 裕 子
中央公民館長	熱 海 寿 雄
富岡公民館長	宇田川 道 高
美浜公民館長	宇田川 妙 子
日の出公民館長	高 梨 晶 子
高洲公民館長	吉 田 敏 輝
事務局	鈴 木 徳 雄
	吉 田 直 子

I [開 会]

1. 委員長挨拶（委員長）
2. 教育長挨拶（生涯学習部長）
3. 新委員委嘱

II [協 議]

1. 報告事項

（委員長）

3月11日の震災の関係で平成22年度第6回公民館運営審議会は開催できませんでした。審議事項として皆様に最終確認をしていただいております平成23年度浦安市公民館運営方針(案)については、承認いただけただけということで、成案として本日の協議に入らせていただいております。

原案どおりで承認

（1）平成22年度公民館主催事業開催結果について

平成22年度公民館主催事業開催結果について、総括として高洲公民館長から説明。各館の状況について、各公民館長が報告した。

（質問）

震災を受けて、特に開催して欲しいという事業についての要望はあるか。また、開催すべき事業として考えている事業はあるか。

（回答）

防災関係の主催事業を開催していきたいと考えている。

（回答）

震災後、市内の全公民館は開館こそしていなかったが、被害状況の紹介や情報の伝達、トイレの提供や水の供給など、さまざまな取り組みをしていた。公民館としての活動はできなかったが、地域の拠点、核として役割を果たしたのではないかと考えている。

（2）平成22年度公民館利用状況報告について

平成22年度公民館利用状況報告について、総括として高洲公民館長から説明。各館の状況について、各館長が報告した。

（質問・意見）

主催事業実施統計の学習課題別統計で、「生活・暮らし改善」の事業は日の出公民館が突出して多いが、なぜか。また、どのような内容の事業を実施しているのか。ま

た、昨年度はほとんど実施されなかった「街づくり・防災・防犯」の事業は、地域と密着・連携していくためにも、必要だと思う。学習方法別統計では、事業のほとんどが「職員企画方式」であるが、「市民参画方式」の事業を増やして欲しい。

(回答)

日の出公民館の学習課題別統計の「生活・暮らし改善」の事業数には、学習コーナーの利用数が入っているので、総回数が多くなっている。

(回答)

学習方法別統計の「市民参画方式」に該当する事業は、現状は家庭教育学級が主となっているが、今後は市民と意見を交えながら一緒に取り組む事業を開催していきたい。

(意見)

学習方法別統計の「職員企画方式」の中には、アンケート等で市民の要望を聞いた上で職員が事業を組んでいるものも含まれているので、統計の取り方についても検討していただきたい。

2. 審議事項

(1) 平成23年度公民館運営審議会年間活動計画について

平成23年度公民館運営審議会年間活動報告について、高洲公民館長が説明を行った。

(2) 平成23年度7月～9月公民館主催事業開催計画について

7月から9月の公民館主催事業開催計画について、各公民館長が説明を行った。

(質問)

震災の影響で、予算の削減があるのではないかと思うが、講師謝礼についてはいかがか。

(回答)

経常経費は20%削減となっているので、公民館についても運営費・活動費とも削減となっている。講師謝金についても削減の必要があるため、外部講師をお招きするだけでなく、地域の方や職員が講師となる事業企画もしている。

(意見)

震災の関係で、精神的に親、特に母親が不安定になり、そのしわ寄せが子どもに向かってしまうケースが見られる。防災関係の事業も必要だと思うが、心のケアが必要な親が増えているので、小さい子どもを持つ母親向けの講座も必要になってくると思う。地域に深く関わっていけるのは公民館だと思うので、視野を広げて今後さらに取り組んでいただきたい。

(意見)

各公民館とも魅力のある企画が多いので、特に子どもたちが沢山参加するようにPRしたいと思う。

(回答)

生涯学習課発行の情報誌「このゆびとまれ」でも、子ども向け事業を紹介している。

(質問)

コミュニティーカレッジは小学校で開催しているようだが、子ども向け事業なのか。

(回答)

美浜南小学校で実施しているのは、市民大学である。公民館事業と市民大学はどちらも生涯学習だが、市民大学は市民と行政の「協働」の担い手作りという目標のもと活動している。

(質問)

震災後、経費削減の中、子どもたちの参加が増える7月～8月の期間に講座が減っていることもなく、また講座の質が変わっていることも無いようだが、講師が大きく変わっているようである。予算をかけず、いかに良い講座を企画するかという意欲が感じられた。ピンチをチャンスにしている。これをきっかけに、市民の活用として講師を募ってはいかがか。講師選定の苦労があったらお聞かせいただきたい。

(回答)

高洲公民館では、クライミングウォールの体験会の講師として、サークルの方に指導をお願いしている。その他にも市民の方が講師となる講座を企画している。特技を持った市民の方は沢山いるので、今後もぜひ講師としてご活躍いただきたい。

(意見)

公民館の講座に参加したことで、ネットワークが広がったり、地域の絆や縁が始まるということがあると思う。また、地域のつながりが防災にも役立っていくと考えている。このようなことから、1・2回の講座ではなく、参加者がつながれるような一定期間継続する講座を開催するべきではないか。

(意見)

直接公民館事業には関係ないのだが、空き巣などの事件が増えているので、注意を促すポスターやチラシの掲示をお願いしたい。

3. その他

(1) 当代島公民館サークル発表会について

高洲公民館長より、当代島公民館の文化祭を今年度はサークル発表会として開催することについて説明をした。

(2) 次回定例会議の予定について

次回の会議は7月8日(金)午後3時から、高洲公民館で開催することを確認した。